



ポリシー駆動型データモデル

- [ポリシー駆動型データモデル \(1 ページ\)](#)

ポリシー駆動型データモデル

ESC は、新しいポリシー駆動型データモデルをサポートします。新しい `<policy>` セクションは、展開および VM グループレベルの両方で、`<policies>` の下に導入されています。

[ポリシーデータモデル](#) を使用すると、ユーザは条件に基づいてアクションを実行できます。ESC は、特定の [ライフサイクルステージ \(LCS\)](#) に基づいて、展開時に定義済みのアクションまたはカスタマイズされたスクリプトをサポートします。たとえば、再展開ポリシーは、ライフサイクルステージ (LCS) に基づいて事前定義されたアクションを使用して VM を再展開します。詳細については、[再展開ポリシー](#) を参照してください。

ポリシーデータモデル

ポリシーデータモデルは、条件とアクションで構成されます。条件は、展開のライフサイクルステージ (LCS) です。アクションは、定義済みまたはカスタムスクリプトです。

- **事前定義アクション**：アクションは事前定義され、条件が満たされたときに実行されます。

次のデータモデルでは、`condition2` が満たされると、`Action2` が実行されます。アクション `<type>` は事前定義されています。

- **カスタムスクリプト**：アクションはカスタムスクリプトであり、条件が満たされたときに実行されます。

次のデータモデルでは、`condition1` が満たされると、`Action1-1` と `Action 1-2` が実行されます。アクション `<type>` はスクリプトです。

```
<policies>
  <policy>
    <name>Name1</name>
    <conditions>
      <condition>
        <name>Condition1</name>
      </condition>
    </conditions>
```

```
<actions>
  <action>
    <name>Action1-1</name>
    <type>SCRIPT</type>
  </action>
  <action>
    <name>Action1-2</name>
    <type>SCRIPT</type>
  </action>
</actions>
</policy>
<policy>
  <name>Name2</name>
  <conditions>
    <condition>
      <name>Condition2</name>
    </condition>
  </conditions>
  <actions>
    <action>
      <name>Action2</name>
      <type>PRE-DEFINED</type>
    </action>
  </actions>
</policy>
</policies>
```

事前定義アクション、およびスクリプトの詳細については、[リカバリポリシーと再展開ポリシー](#)を参照してください。

次の表に、展開内の LCS とその説明を示します。リカバリポリシーと再展開ポリシー、および VNF ソフトウェア アップグレード ポリシーは、ポリシー駆動型データモデルを使用します。これらのポリシーは、単一 VIM 展開と複数 VIM 展開の両方でサポートされます。詳細については、「仮想ネットワーク機能の展開」を参照してください。ポリシーフレームワークを使用したリカバリおよび再展開ポリシーの設定の詳細については、[リカバリポリシーと再展開ポリシー](#)を参照してください。VNF ソフトウェア アップグレード ポリシーのアップグレードの詳細については、[ボリュームを使用した VNF ソフトウェアのアップグレード](#)を参照してください。